



第17回「不可視の隣人たち」

事前申し込み不要 入場無料

映画上映＋解説＋討議



そして、アイヌ



(C) 大宮映像製作所

日時：2026 年 1 月 31 日 (土)

第 1 部 13:30～映画上映

第 2 部 15:20～解説・討議

(17:00 終了予定)

場所：東北大学

川内北キャンパス (下記 A05)

マルチメディア棟 2階 206教室

講師：宇佐照代氏

(アイヌ料理店「ハルコロ」店主/
アイヌ文化アドバイザー)



お問合せ：

<at>は@に換えてください

shihomi.meguro.b2<at>tohoku.ac.jp

目黒志帆美

主催：東北大学大学院国際文化研究科

共催：東北大学 災害科学・
安全学国際共同大学院プログラム

第17回「不可視の隣人たち」

東北大学大学院国際文化研究科
映画上映＋解説＋討議

毎日の街角で、新聞で、テレビニュースでいく度も目に触れているのに、実際には目に見えてこない“隣人たち”。エスニック・マイノリティーであることも多いその“隣人たち”については、わずかな情報しか得られないことが多い。また時には曖昧で歪曲されたイメージだけが独り歩きしていることもある。一方的に与えられる情報によって固定させられたイメージに惑わされずに、この“隣人たち”の視点から世界とわれわれ自身を捉え直す、そこから始めてみてはどうだろう。

東京・大久保にあるアイヌ料理店「ハルコロ」 ともに紡ぐ未来の手がかりが照らし出されていくー

東京・大久保に賑わう一軒のアイヌ料理店がある。店の名前は「ハルコロ (HaruKor)」。アイヌのことばで「食べ物（穀物）・持つ」を指し、「食べ物に困らないように」という願いがこめられている。店主は宇佐照代さん。アイヌ文化アドバイザーとして若い世代へ舞踊や楽器演奏などの伝承活動も行う照代さんは、小学生のころに生まれ育った釧路を離れ、母と4人きょうだいとともに上京。2011年にオープンした店には多様なルーツをもつ人びとが国内外から訪れ、味わい、繋がる場となっている。ハルコロの成り立ちには、長いあいだ関東在住アイヌの居場所づくりに奔走していた照代さんの祖母や母の想いがあった。



(C) 大宮映像製作所

そして、アイヌ (2024年)

企画・監督 大宮浩一
配給 東風
96分
日本
2024年 ドキュメンタリー

当日の予定

13:30-15:10	映画上映
15:20-16:20	解説（宇佐照代氏）
16:30-17:00	質疑応答